

活動指導案

実践団体名 あすか野防犯協議会

■基礎データ

2009-6

① タイトル

地域住民による定期合同パトロールの実施

② 活動の概要

毎月3回、目立つ服装で拍子木を打ち、あいさつ、声かけ、ゴミ拾い等しながら各種団体合同でパトロールを実施する

③ 目標・ねらい

大々的に地域ぐるみで人の目を確保し、空き巣などの犯罪企図者を地域に寄せ付けない

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①地域住民の防犯意識
②地域住民のきずな

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民、子ども、高齢者

⑥ 活動・作業形態

集団による地域の見回り

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

帽子、腕章、名札、タスキ、ジャンパー、Tシャツ、ベスト、拍子木、合図灯、のぼり旗など

⑧ 所要時間

通年、毎月3回、1回約1時間半

⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

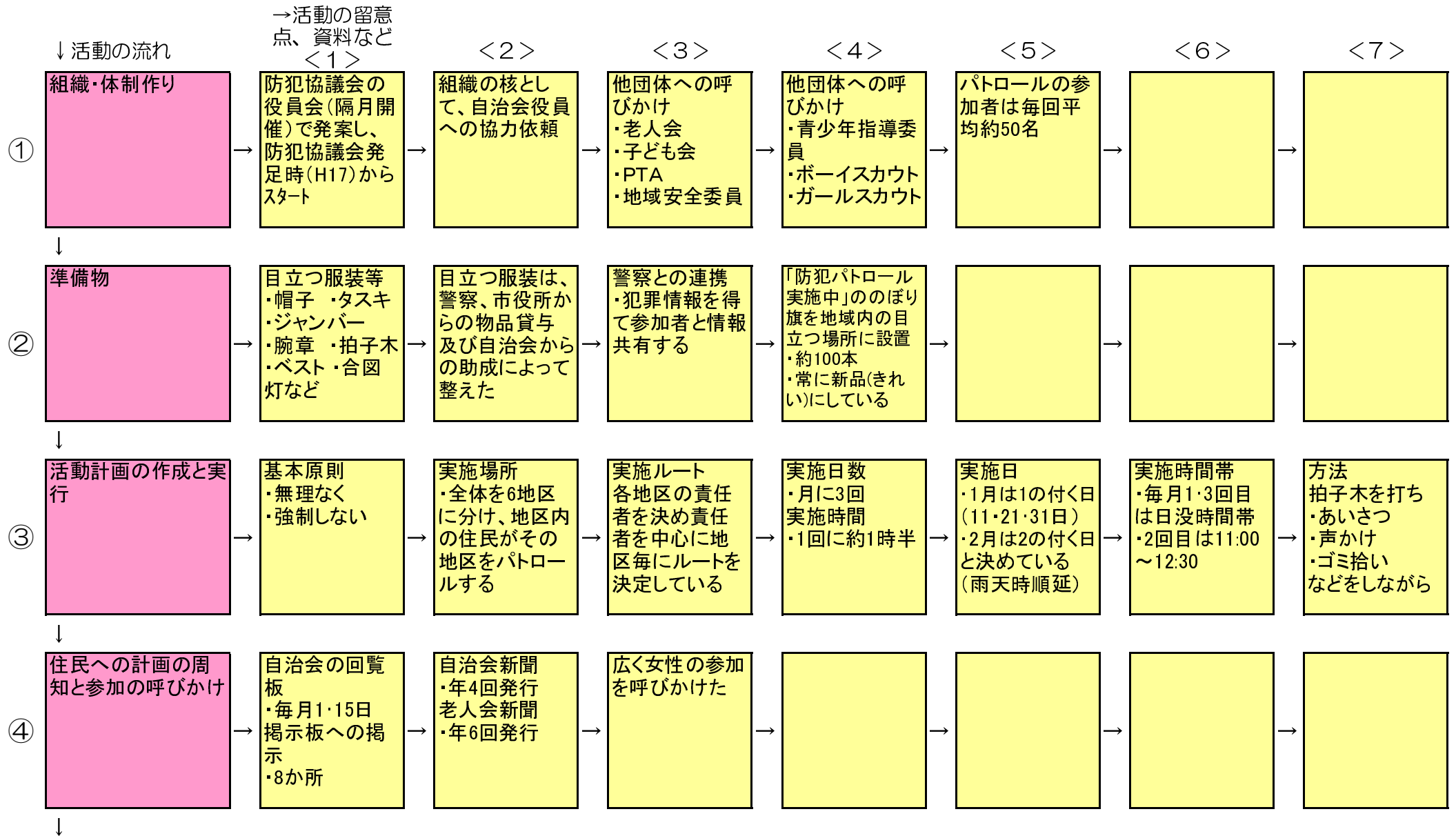
実施者約50名、6つの地区に分かれて地区の住民自身がパトロールを実施

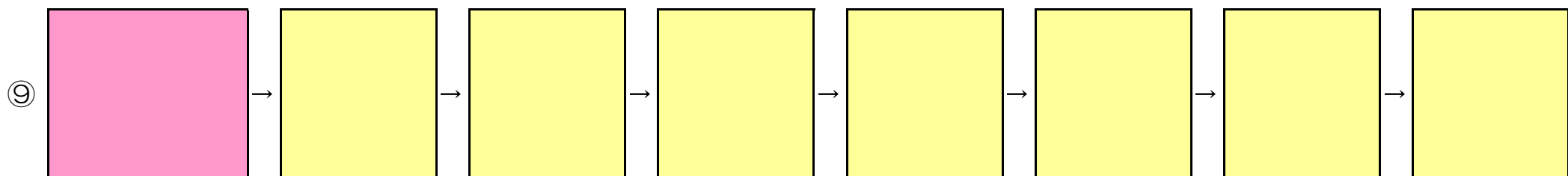
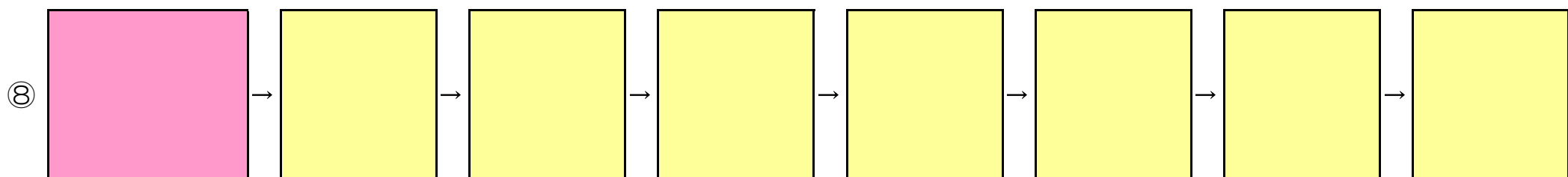
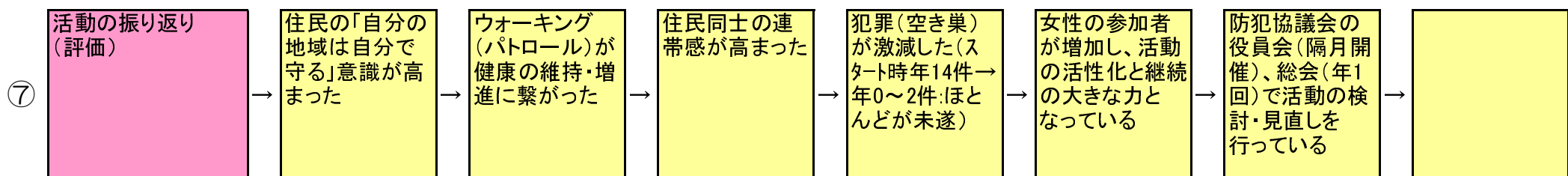
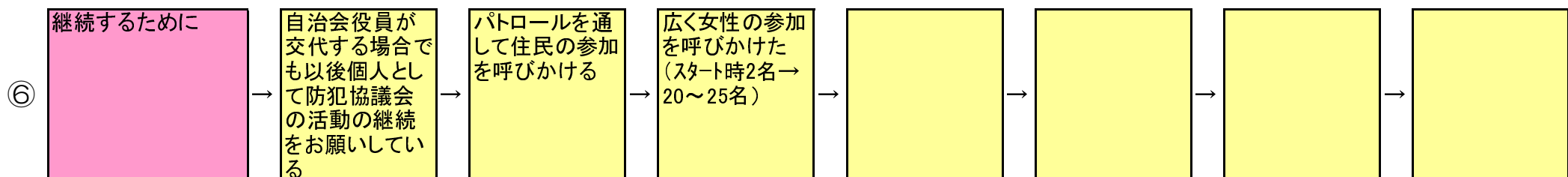
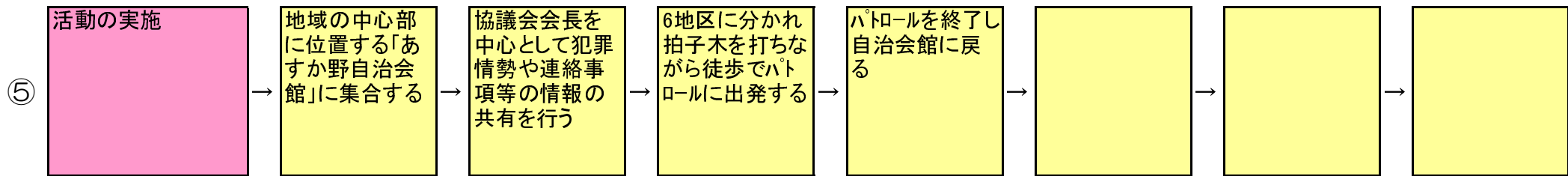
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

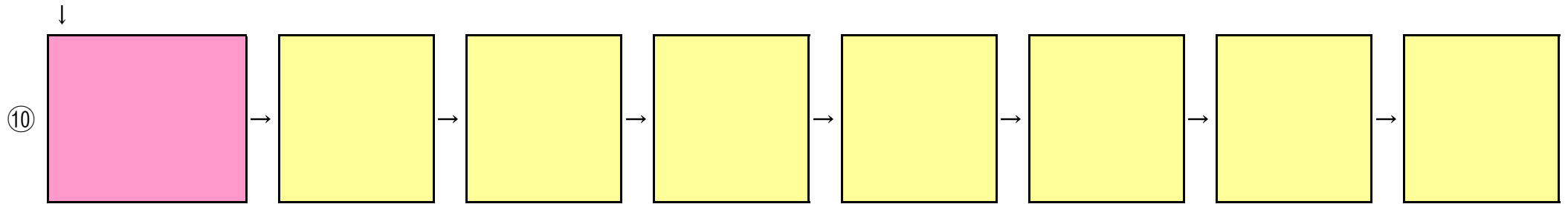
①準備物は警察や生駒市からの物品貸与、及び自治会から防犯協議会への助成金で整えている
②自治会を主体として、住民に呼びかけて「資源ゴミの回収」に力を入れ、自治会活動に役立っている



■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

空き巣による被害が激減した

②その他の評価

- ①住民の「自分の地域は自分で守る」意識が高まった
- ②女性の参加者が増えた
- ③活動が途切れず継続している

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- 出来ることから無理せず、強制しない
- 都合の悪いときは交代
- 女性の参加を呼びかける

②参考資料等

写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 あすか野防犯協議会

■基礎データ

2009-7

① タイトル

地域住民による随時パトロールの実施

② 活動の概要

住民の参加者が外出する時に「子どもの見守り」や「防犯パトロール」を兼ねる
別名「ウイズ作戦」

③ 目標・ねらい

地域ぐるみで地域の「人の目」を確保し、子どもの安全を確保するとともに犯罪企図者を地域に寄せ付けない

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①住民同士の連帯感の高まり
②地域住民の防犯意識の高揚

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民・子ども・地域の防犯力

⑥ 活動・作業形態

いつでも、何でも防犯パトロール

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

腕章 帽子など

⑧ 所要時間

参加者個々の屋外での活動時間

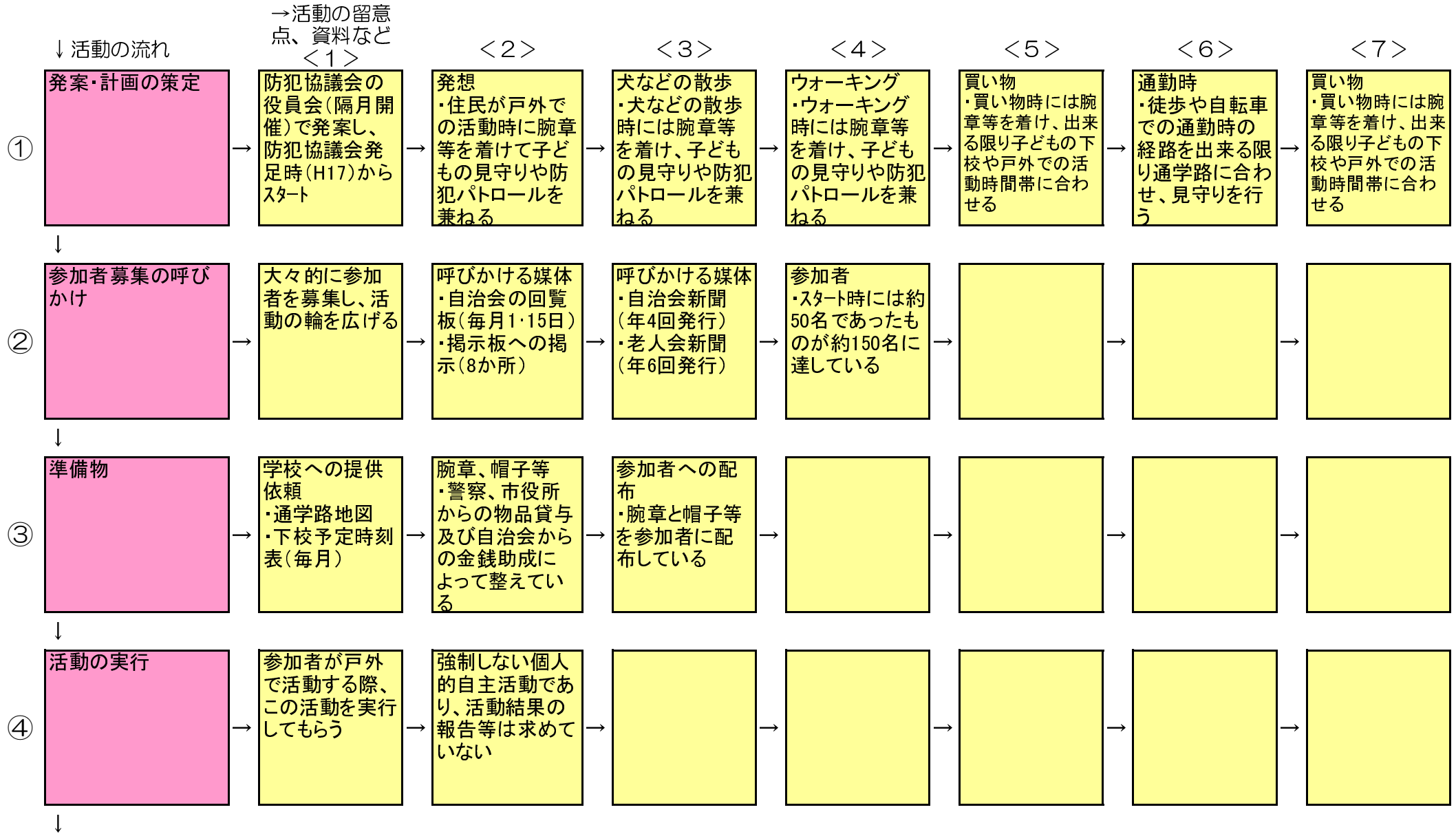
⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

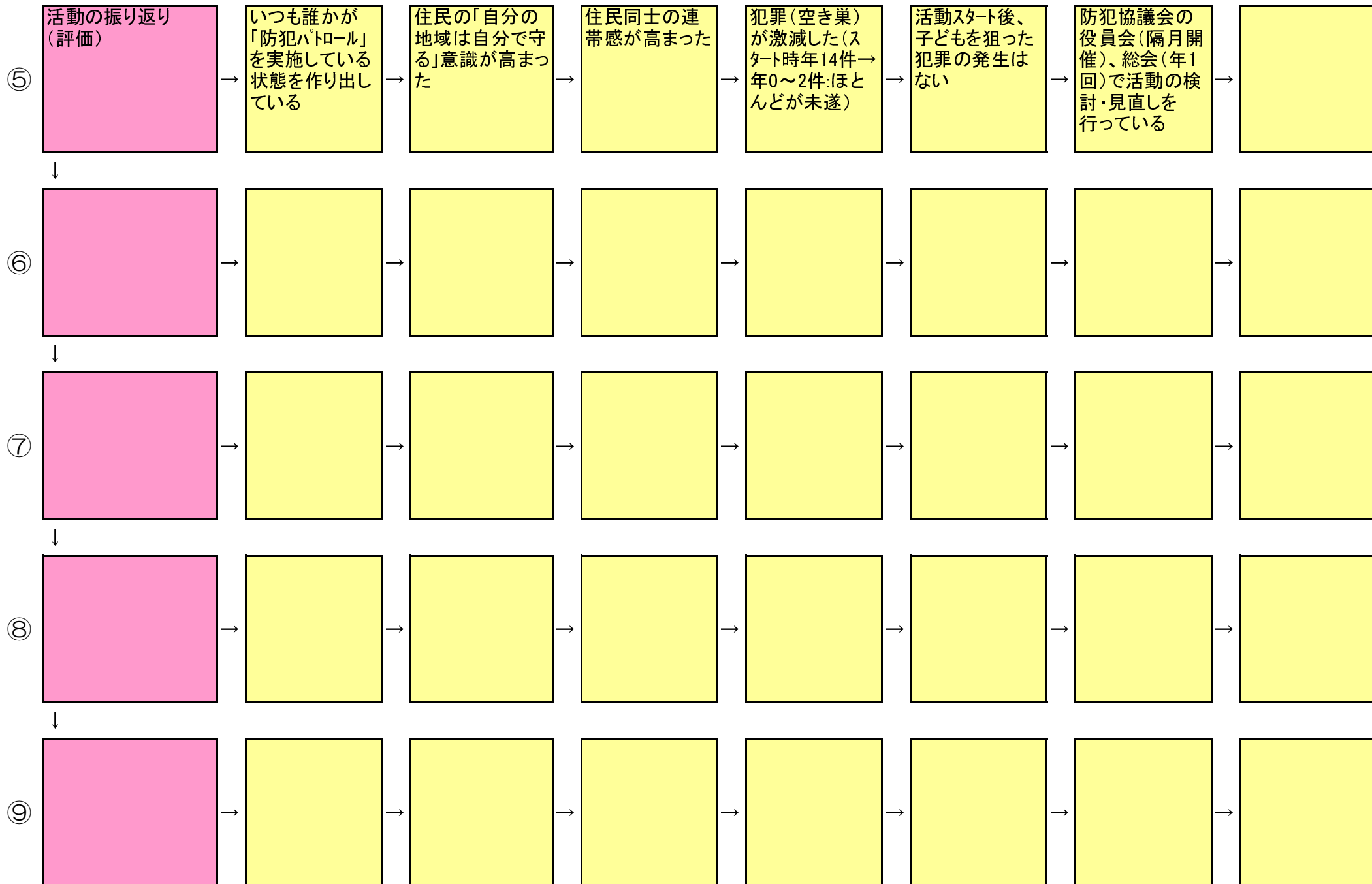
住民の参加者の申し出により腕章・帽子等を配布している
約50名でスタートし現在では約150名が参加している

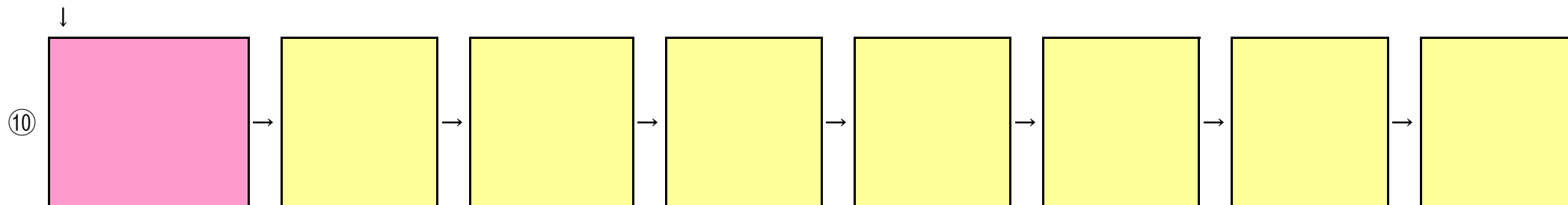
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

①準備物は警察や生駒市からの物品貸与、及び自治会から防犯協議会への補助金で整えている
②自治会を主体として、住民に呼びかけて「資源ゴミの回収」に力を入れ、自治会活動に役立っている

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

- ①犯罪(空き巣)が激減した
- ②子どもを狙った犯罪の発生はゼロ

②その他の評価

- ①住民の「自分の地域は自分で守る」意識が高まった
- ②住民同士の連帯感が高まった

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

- ①無理をしない
- ②強制しない

②参考資料等

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 あすか野防犯協議会



■基礎データ

2009-8

① タイトル

子どもの見守り活動

② 活動の概要

地域ぐるみで、登下校時を中心とした子どもの見守り活動を行う

③ 目標・ねらい

地域ぐるみで子どもの見守り活動
子どもの安全確保

④ 活動で上げることが
できる力・能力

地域ぐるみで子どもを育てる
交通安全

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民、幼児、児童、生徒(学校PTA)

⑥ 活動・作業形態

①通学路上の見守りポイント
②通学路上の巡回
③通学時以外の見守り

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

横断旗、帽子、名札、腕章、ジャンパー、タスキ等 マイカー(巡回用)

⑧ 所要時間

午前7時～8時30分 午後1時～4時30分 夕方5時30分 その他の時間帯

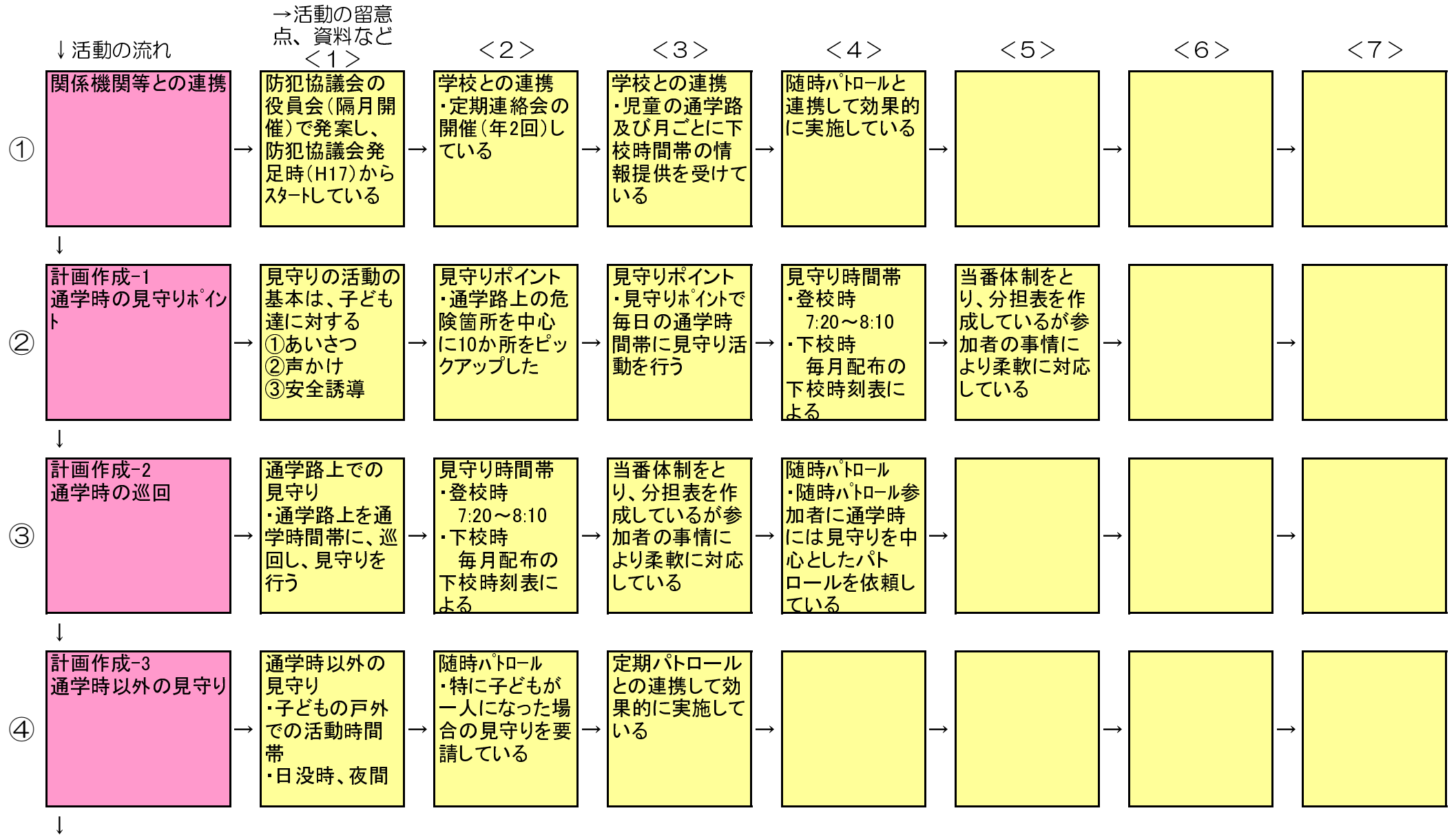
⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

午前約20名 午後約15名 夕方5～6名 その他の時間帯は随時パトロール

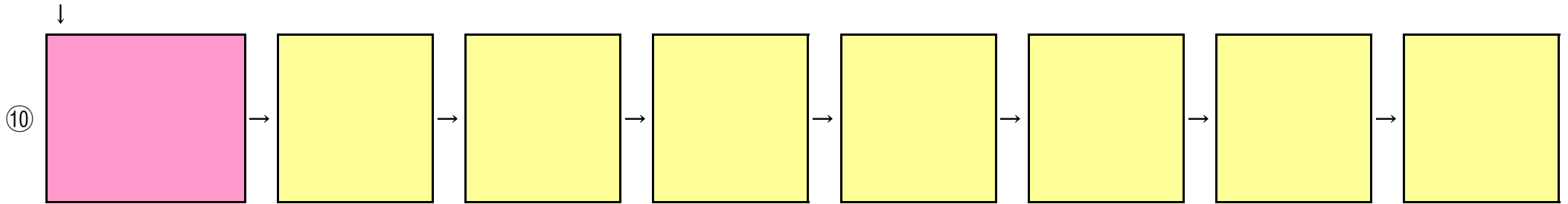
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

①準備物は警察や生駒市からの物品貸与、及び自治会から防犯協議会への助成金で整えている
②自治会を主体として、住民に呼びかけて「資源ゴミの回収」に力を入れ、自治会活動に役立っている

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

H17.11.16奈良市富雄北小事件以来、子どもに関わる事件・事故ゼロ

②その他の評価

子どもの地域への帰属意識が高まった

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- 出来ることから無理せずに
- 都合の悪いときは交代

②参考資料等

見守り箇所分担表、生駒市広報紙、写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 あすか野自主防災会・あすか野防犯協議会

■基礎データ

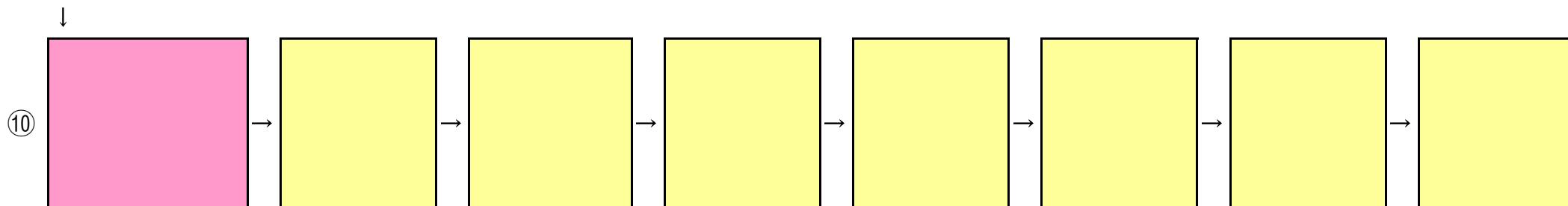
2009-9

- | | |
|---------------------------|---|
| ① タイトル | ご近所サロンによるコミュニティづくりを行う |
| ② 活動の概要 | 自治会の班ごとに、年2回程度住民が集まる場を設け、住民同士の懇談・懇親によってご近所の住民同士の親しみ合いを深める |
| ③ 目標・ねらい | 地域住民の高齢化が急激に進展しており、防災・防犯面はもちろん、普段の生活全般においても住民同志の相互扶助の重要性が高まっている。
その入り口として、住民相互の親しみ合いを深めるため、住民同士の懇談、懇親のための各種活動・会合の機会をつくる。 |
| ④ 活動で上げることが
できる力・能力 | ①住民同士の連帯感・相互扶助意識の高まり
②地域住民の防犯・防災意識の高揚 |
| ⑤ 対象者（受ける側） | あすか野の地域住民約1800世帯4700人
あすか野には6地区（あすか野北1～3丁目、南1～3丁目）あり、計136班（1班あたり15～20世帯）で構成されている。 |
| ⑥ 活動・作業形態 | ご近所の住民が参加する各種活動を行い、住民同士の懇談、懇親の場を設ける。 |
| ⑦ 準備するもの
（道具、材料等） | 活動の計画、懇談・懇親の場、簡単な飲食物（茶・菓子） |
| ⑧ 所要時間 | 概ね2時間～半日 |
| ⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数） | 自治会役員、ご近所サロン検討委員 |
| ⑩ 必要経費
（所要額、財源） | 一人あたり1回につき500円を上限として自治会から助成されている。 |

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

②その他の評価

- ①ご近所同士顔見知りになった
- ②住民同士の連帯感や相互扶助の意識が高まった

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- ①強要しない
- ②住民同士の懇親、懇談を主眼とする

②参考資料等

あすか野新聞（住民への周知）、活動報告書（様式）

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 あすか野自主防災会・あすか野防犯協議会

■基礎データ

2009-10

① タイトル

自主防災訓練の実施

② 活動の概要

年1回、自主防災会が中心となって住民参加の防災訓練を実施する。

③ 目標・ねらい

地域ぐるみで防災に取り組む

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①住民同士の連帯感・相互扶助意識の高まり
②地域住民の防災意識の高揚

⑤ 対象者（受ける側）

自主防災会会員、地域住民

⑥ 活動・作業形態

住民参加の防災訓練

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

必要機材一覧表のとおり

⑧ 所要時間

約2時間程度(10:00~12:00)

⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

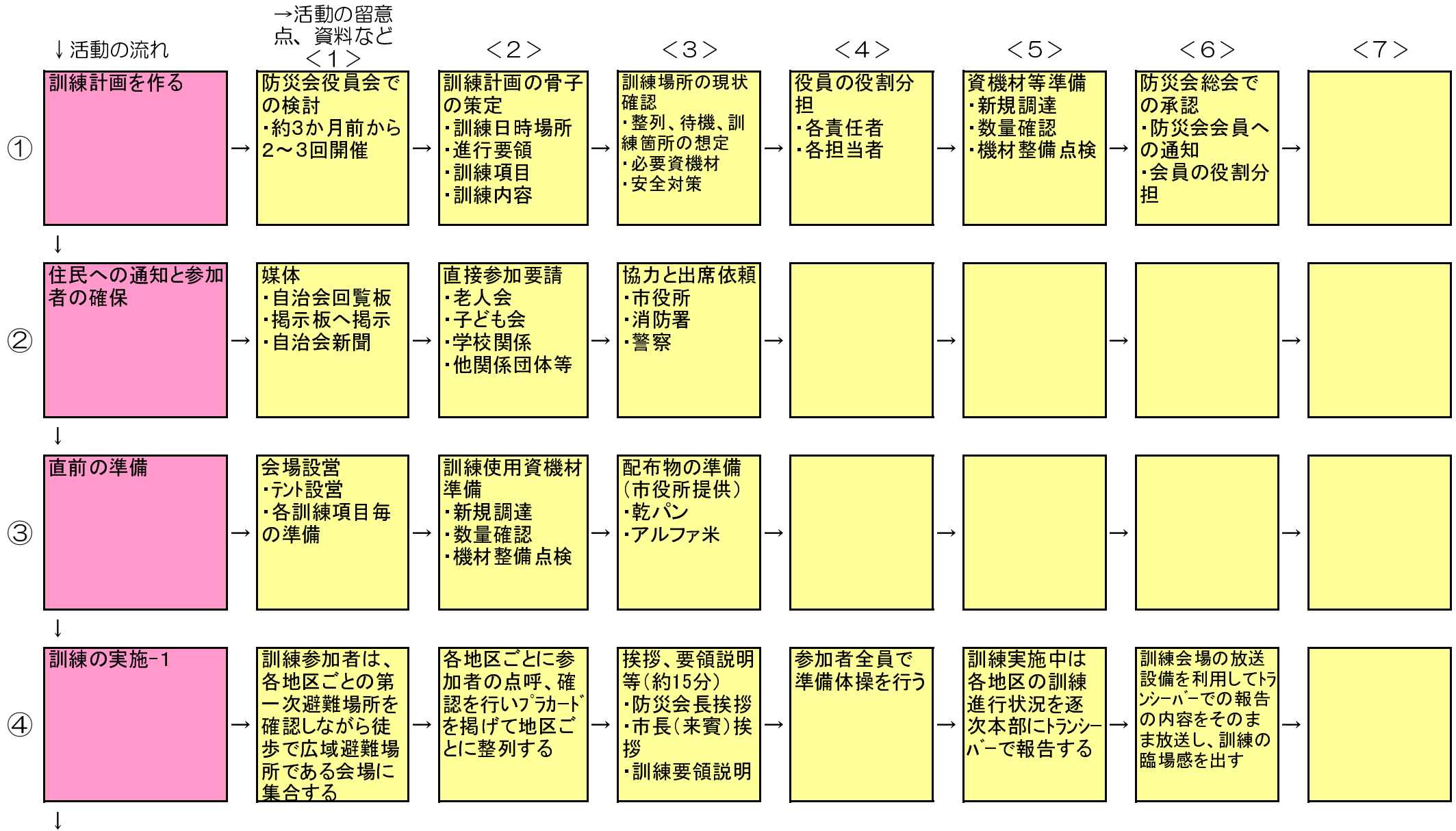
自主防災会会員、消防署員、警察官、市防災課・広報課職員、地域住民等(H21 約300名)

⑩ 必要経費
（所要額、財源）

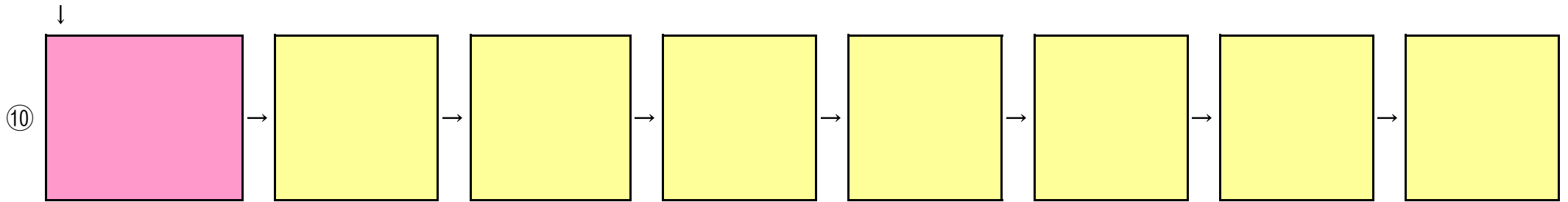
自治会からの助成



■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

参加した住民(約300名)の防災に対する理解と意識が高まった

②その他の評価

消火体験が初めての参加者が多く好評だった

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

- ①地区対抗バケツッレ等ゲーム感覚の訓練を取り入れる
- ②体験型訓練を取り入れる
- ③早くから市役所や消防署等に働きかけ、更新する備蓄食料や配付資料などの提供を依頼する

②参考資料等

訓練実施通知、訓練スケジュール表、写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等